

令和元年度 ICT活用促進モデル事業 採択事業一覧

○事業実施期間

第1回採択事業：令和元年7月20日～令和2年2月28日

第2回採択事業：令和元年9月25日～令和2年2月28日

	NO	提案事業者	事業名	分野	事業概要	結果
第1回採択事業	1	株式会社増商 (金谷東1丁目1018)	ドローンを活用した太陽光パネルメンテナンス事業	B	<ul style="list-style-type: none"> サーモカメラを搭載したドローンで太陽光パネルの点検作業の実施 ドローンによる太陽光パネル洗浄液散布の検証 	<ul style="list-style-type: none"> ドローン使用により高所作業の危険性は除去できた。 点検作業の時間、人員の削減 点検作業にかかる時間 27分 (105分⇒27分：74%削減) 必要人員 2名(4名⇒2名：50%削減) 洗浄作業では、埃や汚れ等には洗浄効果があったが、鳥の糞等のこびりついた汚れを落とすには、ノズルの改良が必要
	2	板倉プレス工業株式会社 (中河894-1)	クラウド型管理ツールを活用した事務作業の効率化	B	クラウド型管理ツールの導入により、生産情報、在庫管理、従業員の賃金管理を一元化する。	<ul style="list-style-type: none"> 内職者の仕事管理業務が月40分に減少 (導入前、月20時間) 内職者の雇用23人に増加(導入前10人) 受注数65%増加⇒現在の倉庫では容量が足りなくなり、スペース確保が必要⇒モデル事業後、事務所増設
	3	有限会社酒井鉄工所 (島田市大柳206-2)	タブレット端末及びウェアラブルカメラを活用した製造工程管理の効率化	B	<ul style="list-style-type: none"> データ管理方法を紙媒体から、タブレット端末を活用した管理サーバーに変更する。 ウェアラブルカメラを使用した作業工程をデータとして管理する。 	<ul style="list-style-type: none"> 作業中にタブレット端末に加工時間や注意事項を入力することで、業務後の紙媒体への記載業務がなくなり、管理者の残業時間が20%削減 案件のデジタルデータ化により、見積作成のために過去の案件を検索する時間が80%以上削減 タブレット端末で図面を確認できることにより、作業工程確認時間が70%以上削減 作業員への指示資料として、ウェアラブルカメラで録画した動画を利用することで、的確な指示ができるようになった。
	4	RFアンテナ株式会社 (金谷根岸町134-4)	島田市茶園LoRaスマート農業_格差縮小	A	中小茶農家がスマート農業に取り組むために安価なデバイスの開発及び中小茶農家によるセンサー自作のためのコミュニケーションサーバー、プログラム記載のためのデータサーバーを構築する。	<ul style="list-style-type: none"> 3,500円以下で発売できるデバイス開発の目途がたった。 センサー制作のための工程説明やメンバー間の意見交換などができる「辞書」機能を持った「バックグラウンドサーバー」を構築したが、DIYの一部で初心者には難易度が高いところがあった。
	5	お花屋TONTTU (旗指534-7牛尾ビル1-6) (共同提案：RFアンテナ株式会社)	島田市SDGs_小売店と住民参加型による地方創生	A	IoTシステム導入により、適切な温度や湿度の管理を行うことで花の寿命を延ばし、ロスを減らす。また、花の状態画像をあわせて撮影し、データと状態を照合させクラウドに収集し、Webページで公開する。	<ul style="list-style-type: none"> 店舗内の環境データを活用することで、生花のロス率が14%になった。 SDGsの取組に賛同する新たな顧客獲得は、目に見える効果としてすぐには表れなかった。
	6	マルキ建設株式会社 (川根町家山548-5)	ウェアラブル端末を活用した建設現場管理の効率化	B	ウェアラブルカメラを現場代理人のヘルメットに装着し、Web会議システムを活用して社内管理者とネットワークでつなぐ。	<ul style="list-style-type: none"> 残業時間の削減(導入後1.4時間/月)(削減率92%) 社内管理者がリアルタイムに工事現場を把握することにより、導入前より現場の細かい点まで指示を行うことができた。
	7	株式会社アイル (中河町361-11)	紙媒体を2次利用する不動産検索サービス	A	紙媒体広告をスマートフォンアプリでキャプチャし、ネット上の類似物件情報を提供するシステムを構築する。	<ul style="list-style-type: none"> 検索アプリを構築し、不動産業者にアプリのデモを行い、活用の要望があった。(今後受注の増加の可能性あり)

令和元年度 ICT活用促進モデル事業 採択事業一覧

第2回採択事業	8	有限会社ユナイト (金谷東1丁目643-66)	最新のIT技術を活用し、海外企業のOEM商品を日本企業向けに紹介するシステムを構築する事業	A	就航先海外企業のOEM商品の紹介方法として、3D画像で商品を確認できるインターネットサイトを構築する。	<ul style="list-style-type: none"> 3D画像で商品を紹介するサイトを構築し、15社の海外企業の製品の掲載を行った。 日本企業向けにOEM事業の説明会を実施し、海外製品の紹介を行った。
	9	有限会社アスカエンジニア (金谷天王町1745番地の1)	空き家・空き地対策の担い手探しコーディネートモデル事業	A	空き家、空き地、休耕地の情報を集める会員制のインターネットサイトを構築し、会員企業間で情報の共有、活用を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ChatWorkにより専門家のビジネスチャットシステムを構築した。 模擬案件により相談テストを実施し、相談受け入れ体制をつくった。
	10	有限会社アグリ開発 (金谷米町3525)	Webミーティングを利用した現場管理、マニュアル作成	B	Web会議システム、ウェアラブル端末を導入することで、現場のリアルタイムの映像を共有でき、現場でベテラン社員からの指導を受けることが可能になる。	<ul style="list-style-type: none"> 現場作業風景の録画映像を社員教育として活用することができた。 現場対応時間1件あたり39%削減 会議時間1件あたり50%削減

※分野

A：新ビジネス・サービス創出（技術の高度化・有効活用等）

B：生産性向上